

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

福岡

高等学校

42

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>伝統に裏付けられた自由な校風のもと、広く社会に貢献し社会をけん引する人材を育成する学校 創立以来培われた伝統を継承しながら、生徒の個性と主体性を重視した教育活動を通して、文武に励み誇りある生き方を目指す生徒、豊かな情 操と社会性を持つ人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>○未来を切り拓く学ぶ力の育成【知性】 ○未来を切り拓く人間力の育成【気概・社会性】</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>○自律した学習習慣を確立し、確かな基礎基本と学習体力を育成する。 ○総合的な探究の時間、学校行事、部活動等を通して他者を感じる力、他者とつながる力を身に付け、協働し て成果を目指す力を培う。</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>○責任感や使命感を持ち、何事にも主体的に取り組む姿勢を持つ人 ○学びの過程を大切にして、自らの課題解決に向け探究する態度と自立した学習を目指す人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>○校訓のもと、気高さのある生徒の育成 ○知性を磨き、真理を愛し、文武にわたって努力する誇りある生徒の育成 ○豊かな情操と広い視野を持つ生徒の育成</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>昨年度は「学ぶ力の育成」と「人間力の育成」を目標にして、自律的な学びを 実践できる学習力と他者を感じる力・他 者とつながる力を育み、本校の校訓に もある「文武にわたって努力する誇りあ る生徒の育成」と「豊かな情操と広い視 野を持つ生徒の育成」を目指した。しか し、これらは決して単年度で身に付くも のではなく、継続・発展が必要であり、 本年度においても重要課題として取り 組んでいきたい。また、福高独自の個別 最適な学びを確立し、自立の基盤とな る確かな学力を育成するとともに、未来 を逞しく切り拓く強靱な心身の育成を図 ることを目指す。 教職員はこれらを念頭に、生徒が自ら 考え、判断し、行動できる力を育むた めの授業や指導を心がけ、学びの主体性 を高め、問題意識を喚起する授業を確 立できるよう、考えられた指導計画を 作成し実践する。</p>	<p>1 未来を切り拓く学ぶ力の育成【知性】</p>	<p>① 福高独自の個別最適な学びを確立させ、思考力、判断力、表現力並びに知 識の理解の質を更に高めるとともに、自立の基盤となる確かな学力を育成する。 ② 主体的・対話的で深い学びにより、本質を捉え真理を求める態度や、自ら課 題を見出しその解決策を探索する力を育てる。 ③ 自律した学習習慣と、志の実現に向けて粘り強く果敢に挑戦できる学習体力 を育成する。</p>	
	<p>2 未来を切り拓く人間力の育成【気概・社会性】</p>	<p>① 高い志のもと、課題意識を持って社会の変化に主体的に向き合い、福高生と しての誇りを持って社会の発展に貢献しようとする気概を育てる。 ② 文武両道に励み、失敗を恐れず果敢にチャレンジする意欲・態度を身に付 け、未来を逞しく切り拓く強靱な心身の育成を図る。 ③ 他者を感じる力・他者とつながる力を身に付け、集団の中での自己の役割と 責任を自覚し、他者と協同して粘り強く目的の達成を目指す態度と実践力を培 う。 ④ 豊かな情操と道徳心を基盤に、多様性を受け入れ、いじめや不正を許さない 意識や態度を醸成し、公共の精神に基づく社会の一員としての自覚と責任感を 育てる。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
学力の向上	【教務課】 ①自律した学習習慣と、粘り強く学習する体力の育成 ②観点別の多面的な評価の充実 ③校務支援システムの安定運用	複数の自習室を確保し、落ち着いた自主学習に取り組める環境を整える。また、特別時間割の作成・運用を行い、粘り強く学習するための環境を整える。 観点別評価を通して、生徒の【1】自らの学習を調整しようとする側面(自己調整)【2】粘り強い取組を行おうとする側面(粘り強さ)の育成を図る。 これまでの成績処理の流れを改めて見直し、ミス防止のためのチェック体制を整え、全職員の効率的な業務遂行の推進と負担軽減に努め、業務の効率化や教育の質の維持向上を図る。	進路アンケート	
	【図書課】 ①読書の質を高めることで、読解力・思考力・表現力を育成する。 ②名著と出会う機会を増やすことで、「知」の質を高める。 ③思考の言語化により主体的・対話的で深い学びを実現する。	新入生対象の「新入生課題作文」、1・2年対象の「全国青少年読書感想文コンクール」を継続し、「書く」ことにより「読む」の質を高める。 「福高百冊ブックレット」の活用や、「読書会」などの企画を通じて名著に触れる機会を増やし、福高生の知的世界の扉を更に広げる。 「福高ビブリオバトル」等の「語る」企画により、考えていることを言葉で表現する機会をつくる。	読書調査	
	【情報課】 ①教育の情報化 ②ネットワークの管理 ③ICTを活用した授業の促進	デジタル採点システムによる採点・返却に関してはセキュリティ対策を十分に行い、教育の情報化に努める。 ICT活用の手引きに沿ったネットワーク運営を行い、安定した操作環境を整える。また、ICT機器の紛失や故障がないように機器の扱い方の指導を行う。 校内研修等を充実させ、ICTを活用した授業を促す。	ICTスキル調査	
	【生徒指導課】 ①主体的に考え、判断し、行動できる実践力の育成 ②生徒による部活動の活動・運営への支援 ③安全安心に生活できる環境づくり	生徒会と連携を図り、昨年度から見直しが行われている生徒心得の整理を継続していく。また、生徒一人一人がその生徒心得に基づき、自らを律していけるような指導を行っていく。 各部長を中心とした生徒による活動となるように、部長会や講習会等を計画的に行う。また、奨学財団からの支援を活用して、生徒の要望等を反映させ、生徒の活動環境を整える。 いじめアンケート等の活用、学校全体での防犯対策の徹底、問題行動に対する迅速な対応、生徒も職員も明るく前向きな挨拶等で、生徒にとって安全安心のある環境づくりを行う。	・健全育成委員会との意見交換 ・学校生活アンケート ・いじめアンケート ・いじめに関する保護者アンケート	

様式3

生徒の健全育成	<p>【保健課】</p> <p>①心身の問題を抱える生徒の早期発見と早期対応</p> <p>②保健管理・安全・健康に関する指導の徹底</p>	<p>配慮を要する生徒に関する情報を全職員で共有する場を設定し、その資料作成等にSCの意見を取り入れながら持続可能な運営の形を構築する。</p> <p>年2回の職員ストレスチェックの結果を、SCや事務室とも連携してストレスサーの分析と対策を行い、よりよい職場環境づくりに繋げる。</p> <p>がん教育含むさまざまな健康教育を各教科と連携させるとともに、思春期講習会等にも効果的な内容となるよう、講師との打合せを丁寧に行う。</p>	<p>・SCとのケース会議</p> <p>・こころとからだのチェックリスト</p>	
	<p>【生徒会課】</p> <p>①自治的な活動を行える生徒会の育成</p> <p>②伝統の継承と革新</p>	<p>生徒会活動の意味や価値について考え、信念を持って主体的に活動できる生徒会を育成する。</p> <p>学校生活や校則等について考える機会を作り、代表議会の定期開催や生徒総会の充実をはかり、主体的な学校づくりを進めていく。</p> <p>各行事においては生徒が一丸となり、福高の文化、伝統、精神を共有していく。また、福高の伝統を継承するとともに、社会情勢の変化や時代の潮流に応じて革新していく。</p>	<p>生徒会主催の満足度調査</p>	
進路指導の充実	<p>【進路指導課】</p> <p>①補習の内容充実と出席率の向上</p> <p>②新課程入試にむけた進路関連情報の有効活用</p> <p>③外部模試結果の分析と共有</p>	<p>補習受講の意思を丁寧に確認し、主体的に受講させる。受講科目については基本的に皆勤を目指させる。同時に補習内容を精選し、内容充実を目指す。</p> <p>進路指導資料(6月, 9月)の活用場面を各学年ごとに具体的に設定する。また、新課程入試などの時代によって変化する進路情報を職員、生徒に的確に周知する。</p> <p>福高模試, 実力テストをより充実した内容とし、成績の現状把握とともに第一志望実現のモチベーションとなるはたらきかけとしての意義を高める。</p>	<p>・進路状況</p> <p>・進路アンケート</p> <p>・父母教師会役員との意見交換</p>	
	<p>【キャリア教育課】</p> <p>①高い志を確立する契機となる様々な学びを通して社会に貢献できる人間力の育成</p>	<p>キャリアセミナーや修学旅行の研修プログラムを通して、職業観や勤労観を形成し、社会に貢献する態度や姿勢を育成する。</p> <p>大学研究セミナーや高大連携事業を活用して、大学での学びに対する興味関心を深め、進学する意義や目的意識を明確にする。</p> <p>教務部教務課と連携して、総合的な探究の時間をキャリア教育として有効活用できるよう、系統的なプログラムを計画し実施する。</p>	<p>・進路アンケート</p> <p>・各行事における振り返りシート</p>	
	<p>【医進教育課】</p> <p>①医学科希望生徒への進路支援と医師を志す者のための様々な学びの充実</p>	<p>医師を目指す生徒の資質向上とモチベーションの向上に関与する現役医師による講演会および研修の企画立案と精選を行う。</p> <p>医学科への進路実現につながる具体的内容を含む講演会の実施と、志望理由書作成指導および面接指導等を充実させる。</p> <p>医進プログラムに関する周知と広報活動を充実させる。</p>	<p>・進路アンケート</p> <p>・各行事における振り返りシート</p>	

様式3

教員の資質・能力の向上	【企画広報課】 ①諸行事の企画・運営の円滑化 ②広報活動の充実 ③父母教師会や福中・福高同窓会との効果的な連携	各学年・分掌との連携・調整を綿密に行い、教育効果の高い行事を実施する。 小中学生向けの広報行事に加えて、保護者向けの相談会を実施し、校外における広報活動の充実を図る。広報行事以外の日常的な活動についても精選の上、実施する。 父母教師会や福中・福高同窓会との連絡を密にして支援体制をさらに充実させる。	企画 ・行事ごとに実施する職員アンケート 広報 ・広報の対象者(小・中学生、保護者)に実施するアンケート	
	【研修課】 ①職員及び教育実習生の資質向上に資する研修の充実 ②教育目標の達成に向けた授業改善と指導力の向上	各分掌と連携して本校の喫緊の教育課題を見定めながら、その解決の糸口となるような研修テーマを設定する。 外部講師を招聘するなどして、広く教育界の課題に対して視野を広げることができるような校内職員研修を実施する。 相互授業参観・授業アンケートのあり方について本校の実状に即して再検討し、充実を図る。	・各部・課・学年への職員研修テーマに関するアンケート ・職員研修後の事後アンケート ・授業アンケート	
第1学年の取組 学年テーマ 「感恩報謝」	高校生としての基本的な生活習慣の確立	初期指導を充実させ、福高生としての心得を熟知させる。教員間で重点的に指導するポイントを共有し、齟齬がないように努める。 朝補習等の自身で選択・決定した事柄に責任を持たせ、最後まで粘り強くやり遂げさせるように指導する。 挨拶、返事等のコミュニケーションに関わる指導を充実させ、他者と良好な人間関係を築く上での土台となる人間性を育む。	・学校生活アンケート ・学級日誌 ・年度末の振り返りシート	
	高い志を持って意欲的に学ぼうとする態度の育成	生徒の学力状況に合わせた個別最適な指導が行えるよう、担当間での情報交換を日常的に密に行う。 大学入試の概要説明を早期の段階で具体的に行い、生徒が広い視野を持って受験の準備・選択ができるようにすることで学習意欲を高める。 協働的に学ぶ機会を積極的に推奨し、本校で学ぶことの価値や意義を考えさせることで帰属意識を高める。	・授業アンケート ・学級日誌 ・進路アンケート ・年度末の振り返りシート	
	リーダーシップおよび課題解決能力の向上のための支援体制の充実	九重キャンプを通じて生徒に役割を与え、各セッションでリーダーシップ・主体性が発揮できる機会を設ける。 学年集会等の場で生徒が人前で語る場を設け、相互に刺激し合い高め合う風土を築く。 生徒からの寄稿を積極的に採用した学年通信を定期的に発行し、保護者にも学校の現況や生徒の活躍の状況を伝える環境を作る。	・各行事の振り返りシート ・各行事の実行委員会の会議等での意見交換 ・学級日誌 ・年度末の振り返りシート	

様式3

第2学年の取組 学年テーマ 「万里一空」	自律調整型学習の確立	授業を中心とする学習習慣をさらに深化させ、部活動、委員会活動の中心としてその両立を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識アンケート ・年度末振り返りアンケート ・学校生活アンケート 	
		個別最適な学びを通して、生徒が自ら主体的に選択した学習を行うことで自己の学びに責任をとるとともに、自律調整型の学習を確立する。		
		個別面談等で生徒の個性理解に努め、学年全体で情報を共有して集団指導や個別指導に取り組む。		
主体的、積極的な行動力と組織的、計画的な組織運営力の習得	学年行事において、学校の中核としてリーダーシップ、フォロアーシップを適切に発揮できるよう、生徒が主体的・協同的に企画・運営する機会を設け、自力での課題解決の経験をさせる。	修学旅行委員会を設置し、修学旅行を自分事として運営させることを通じて集団としての力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の振り返りアンケート ・年度末振り返りアンケート 	
		集団における自己の存在の大きさを自覚するとともに、多様性を尊重する豊かな人権感覚を有する集団にする。		
		総合的な探究の時間におけるキャリア教育や修学旅行を通して、自分の人生観について考え、社会に貢献する気概を育てるとともに、具体的な進路目標を立てられるようにする。		
オープンキャンパスなどの校内外のイベントへの積極的な参加を促し、生徒自ら必要な情報を掴む環境を作る。				
第3学年の取組 学年テーマ 「雲外蒼天」	生徒の人間力を最大限引き出し、生徒の自己教育力を育む教育環境を提供する。	生徒の知的好奇心や向上心を刺激する授業を展開し、主体的な深い学びを啓発する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート ・学校生活アンケート 	
		個に応じた学習習慣の確立を支援し、地道で継続的な学習を促す。		
		生徒観察を積極的に行い、生徒の状況に応じた適切な指導のあり方について議論、実践していく。		
	主体的に高い目標に挑み続ける強い気持ちを育む。	自分の個性と将来像を考える機会を設け、生徒が自ら進路目標や方向性を明確にすることを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路アンケート ・学校生活アンケート 	
		面談や生徒への声かけを学年全体で積極的に取り組むことで、生徒との高い信頼関係を構築する。		
		進路に関する情報を学年で共有し、生徒にとって適切で有効な助言をすることに努める。		
	これからの社会を担う主権者としての素養を育成する。	生徒の可能性を信じ、生徒の努力を支援し続け、生徒の最後まで粘る力、諦めない力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の振り返りアンケート ・年度末振り返りアンケート 	
		これからの社会に必要な力や素養について学年団で探究し、生徒との適切な距離感を保ちながら指導育成する。		
		生徒が自ら行事を企画・運営することを支援し、主体的行動力やリーダーシップ、フォロワーシップを養う。		
		様々な集団の構成者である自覚と責任を持たせ、自他を尊重する人権意識や多様性・寛容性を育む。		